

歴史ロマン溢れる世界遺産を散策！

世界遺産 勝連城跡

2000年に、ユネスコの世界遺産「琉球王国のグスク及び
関連遺産群」の一つとして登録された「勝連城跡」。
歴史ロマンを感じてみませんか？

琉球王国時代を今に伝えるグスク跡

2000年に世界遺産登録された勝連城跡。15世紀、中国を始め、東南アジア、日本本土との海外貿易を行い、勝連に繁栄をもたらした十代目城主阿麻利(あまわり)が居城したとして知られています。

優雅な曲線を描く城壁は芸術的な美しさを感じさせてくれますが、自然の断崖を利用した城は防御を意識した造りに。そのことから“難攻不落の城”といわれています。標高は60～98m。最も高い位置に築かれた「一の曲輪(くるわ)」からは太平洋に輝く青い海が一望

でき、南は知念半島から北はやんばるまで見渡すこともできます。

勝連の政治上で最も重要な建物があったと考えられている場所は「二の曲輪」。周辺から瓦が土出することから、当時、首里城や浦添城などでしかみられない瓦葺屋根の建物があった可能性があるとされ、現在はその礎石跡を地上に復元しています。

随所に歴史と当時の人々の息づかいを感じられる勝連城跡を、ゆっくりと散策してみませんか？

世界遺産 勝連城跡
あまわりパーク管理事務所

TEL:098-978-2033
9時～18時
年中無休



世界遺産
勝連城跡



城を登ると海中道路やうるま市の島々を眺めることもできる。

